

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 檀原市立金橋小学校

① 学習指導案

プログラム	No.10 「校歌の風景を見つめてみよう」
単元名 (全15時間)	ああ金橋はわたしの母校
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌に描かれている情景を調べ、地域のよい景観を発見し、地域を大切に する態度を育む。</li> <li>地域の歴史や文化を学び、先人の思いを知り、校歌に愛着をもたせ、自分 の考えを友だちと交流し合う。</li> </ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>校歌の歌詞について、意見を出し合う。</li> <li>校歌に描かれている情景の場所を出し合う。</li> <li>地域の歴史学習や文化について学習を深める。</li> <li>調べたことを表現し、地域を大切にしていける意義を確認する。</li> <li>学習をしたことを胸に校歌を披露しあう。</li> </ol>
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの檀原市（副読本）</li> <li>校歌・地域図・デジタルカメラ・タブレット・レコーダー</li> <li>校区・檀原市歴史に憩う館</li> </ul>

学習の流れ

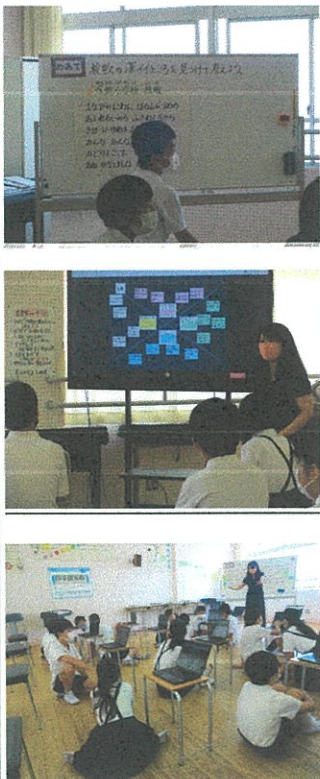
時間	学習活動	教師の指導	評価
1	校歌の歌詞から感じることを 出し合う。【音楽】 (タブレット・ロイロノート を利用)	校歌を歌い、児童の考えを交流で できるように提示する。	自分の考えを出せ ているか(表現)
10	金橋の「歴史」「文化」につ いて学習をする。 【社会・総合的な学習】 ・資料を使う 「わたしたちの檀原市」 ・聞き取り調査 「家族・近所のおじいさん ・地域の人」 ・見学 「歴史に憩う館」	・興味を持って取り組むことがで きるよう、あらかじめ資料を用意 し提示する。	・目的をもって問 題解決をしようと しているか。 (興味・関心)
3	・調べたことをまとめて発信 する 【社会・総合的な学習】	・グループ学習を活発に進めてい くことができるよう助言してい く。	・相手に伝える方 法を工夫している 。(知識・表現)

1	・校歌の練習 【音楽】 発表会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌を披露する</li> <li>・調べたことを発表する</li> </ul>	
---	---------------------------	---	--

<留意点>

・新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、できることを考えていく。直接聞き取りができない場合は、オンラインを取り入れたり、音楽会ができない場合は、児童にどんな方法で発信できるかを考えさせたりして活動を進めていく。

② 事業実施報告書詳細

学校名				
時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	音楽室	校歌の歌詞から感じることを出し合う。		<p>今まであまり何も思わないで校歌を歌ってきたが、友だちの意見を聞き合う中で、なるほどと思うことや歴史や文化の言葉から金橋の歴史について興味をもったようである。</p>



<p>10</p>	<p>檀原市歴史に憩う館</p> <p>教室</p> <p>各地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学 「歴史に憩う館」</li> </ul> <p>金橋の「歴史」「文化」について学習をする。 【社会・総合的な学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を使う 「わたしたちの檀原市」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り調査 「家族・近所のおじいさん・地域の人」</li> </ul>	  	<p>檀原市にある千塚古墳群を実際に訪れ、学芸員さんにお話を聞いた。また、土器の修復体験をし、土器に触れることができた。子どもたちは学芸員さんの話を興味深く聞き、熱心にノートに記録していた。</p> <p>教室で学んだ古墳についても身近に感じることができたようである。</p> <p>夏休みにそれぞれに、地域の歴史について近所の方やお店へ行って取材をした。</p>
<p>2</p>	<p>教室</p>	<p>新聞にまとめる</p> <p>まとめた新聞を廊下に掲示し、学校を訪れた保護者の人にも見てもらえるようにした。</p>	 	<p>聞き取ってきたことや、自分で調べたこと、体験したことなどを新聞にまとめていった。校歌についてまとめた記事から子どもなりにいろいろ校歌について考える機会が持てたことがうかがえた。</p>

		<p>ほづらんや 火糸りの魅力</p>	<p>全権、て何?</p>	<p>全権、て何?</p>
2	体育館 各教室	音楽会で発表しよう		<p>感染症予防対策のため、マスクを しての校内音楽会で 体育館には高学年 だけが入っておこ なった。マスクを しながらも美しい 声が体育館に拡が った。校歌につい て学習をしたこと で、普段聞してい る校歌がいつもと 違って聞こえてき たようであった。</p>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>これまで、何気なく歌ってきた校歌について児童が興味を持って学習することができるように、タブレットを利用した。また、実際に橿原市の施設見学をすることで、歴史に興味をもって取り組むことができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>校歌の詞が、あまり歴史に関する言葉が出てこないため、【文化や歴史】の言葉に注目をし、校区の地名を調べたり、文化財やお店を調べたりして、校歌を歌いながら調べた風景が浮かぶように考えた。</p>



### (3) 児童の反応

調べ学習を通して、児童が自ら近所のおじいさんやおばあさんに歴史を取材したり、親戚の人が校歌を作詞したというお寺の住職への聞き取りに行ったりして、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。

また、校区の地名には、そんな謂われがあるのかということにも気づき、そのことを新聞にまとめており、児童が自分たちの地域に親しみをもつことができたと感じた。

学習の後に校歌を音楽会で披露したが、美しいハーモニーが体育館に響き渡っていた。

### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

音楽専科と各担任とが計画を立てながら学習を進めることができた。音楽教諭も「この学習を通して自分自身も今までより身近に校歌を感じることもできた。」という感想を伝えていた。一つ一つの言葉にその意味や背後の風景を感じることで、歌の表現が変わってくることを教師も子どもも味わうことができた。

### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

校歌に視点を置きながら、校区の歴史や先人の思いに気づいたり、学習を深めたりすることができた。今後はどんどん開発されていく地域ではあるが、これまでの歴史を大切に自分たちの住む地域への願い等を語り合うような機会が必要だと感じる。また、流れに沿って生きることも大切であるが未来を築く子どもたちがこれから何を大切にしてこの時代を担っていってくれるのか・・・子どもたちなりの足跡を残していけるようにこういう取組はとても大切であると考えます。